

平成 27 年度第 1 回 内灘町子ども・子育て会議 議事録（要旨）

日 時	平成 28 年 1 月 29 日（金）14：00～15：00
場 所	内灘町役場 4 階 407 会議室
出席委員	南口政人、番匠尚、表井美智恵、塩谷佑子、嶽彩子、松崎則代、米田正明、荒船眞由美、本弘美、西村美和
事 務 局	大徳町民福祉部長、上島子育て支援課長、中川子育て支援課長補佐、甲野子育て支援課主査、米田子育て支援センター所長、岩船子育て支援センター事務補助

1. 部長挨拶
2. 内灘町子ども・子育て会議設置条例を読み上げ、会議について説明
3. 議件

（1）委員長・副委員長選出

委 員 長：番匠 尚委員
副委員長：荒船 眞由美委員

（2）子ども・子育て会議について

- ・事務局より
 - ・内灘町子ども・子育て支援事業計画について説明。（省略）
 - ・1号・2号・3号認定の違いや幼稚園・保育所・認定子ども園・地域型保育の違いについて説明。

※委員からの主な意見と事務局からの説明

（委 員）保育所と認定こども園の違いは何か。

（事務局）保育所は両親が共働きなどで主に保育に欠ける子どもが利用できる。認定こども園は両親の就労状況に関係なく、保育に欠ける子も欠けない子も皆利用できる。

（3）私立幼稚園の認定こども園への移行について

- ・事務局より
 - ・資料説明（省略）

（4）その他

（委 員）内灘町文化会館で学習支援教室というものを行っている。対象は、ひとり親家庭や低所得者世帯の中高生で、内灘町は県のモデル地区で 8 つのうちの 1 つである。昨年、小学生を対象にスタートしたが、利用者が増えず、中高生にすると増えた。現在では中学生 26 人が利用している。金沢医科大学の学生からなる、入院している子どもに勉強を教えるボランティア団体「しろくま」がボランティアで手伝ってくれている為、子ども達に 1 対 1 で勉強を教えることが出来、大変助かっている。

（委 員）現在の県営住宅はひとり親世帯と高齢者で埋まっており、新婚で収入が少ない若い世代は

安いアパートを探して町外へ転出していく傾向が強い。しかし、金沢市では学童保育がいっぱい利用できないなど子どもが大きくなるにつれて苦勞が多いようだ。内灘町に住めれば祖父母が面倒を見ることも可能だと思うがいい案はないか。

(事務局) 白帆台に新たに県営住宅・町営住宅を建設予定で平成 30 年頃には完成予定である。

■今後について

子ども・子育て支援事業計画についても、PDCA を実施し、評価しながら実現に向けて取り組んでいく。それぞれの立場から意見をもらい、より良いものにしていきたいと考えている。協力していただけると有難い。